愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘一ヶ月分七錢　三ヶ月貳拾壹錢半年分四拾貳錢壹ヶ年分八拾四錢全國無逓送料郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割増
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麹町區下二番町三十七番地　大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

社説

産業の母

日本婦人は國民の母たると同時に、産業の母である。最近の統計に據れば、我國輸出總高は二億七千四百八十餘萬圓であるが、其内で生糸類が七千九百餘萬圓、絹布類が三千餘萬圓、綿布類が二千五百餘萬圓、編物類即ち地蓆・麥桿眞田等が八百四十餘萬圓、茶類が八百餘萬圓、摺附木が七百四十餘萬圓といふ譯で此六種類だけの合計が一億五千七百八十餘萬圓となッて、優に輸出總高の半分以上を占めて居る。扨この半分以上を占める輸出品は、誰の手で出來るものであるかといふに、孰れも專ら婦人の手で造られるものである。殊に日本の生糸は、近來世界に冠たる位置を占めるとになッた。抑も日本の生糸が歐米に輸出される割合は、既往十個年の平均を見るに、米國が主であッて、五割六分五厘を占め、佛國が三割四分、伊國が七分七厘、英國が八厘といふ有樣である。斯樣に大部分を占めて居る米國の機業家は、從來伊太利のピモン佛蘭西のセヴエンヌなどを優等品として使用して居ッたのであるが、近來は日本産の關西エキストラ、クラシアルを優等品とすることになッた。此糸は、光澤の上に於ても、整一の上に於ても、佛伊兩國の優等品を凌駕するに至ッた、即ち本年二月中の米國市場に於ける糸價比較は、關西エキストラが四百六十弗、伊國メッシナが四百五十五弗、佛國セヴエンヌが四百四十弗といふ勢ひである。實に日本婦人の手に成れる生糸が、宇内に冠たるまでに至りしは大に祝すべきことである。唯うらむらくは、此優等の糸が、未だ出來高の少いことである。大に生糸の改良に努めて、優等品を多額に出し、世界の糸價の標準を、日本の糸で定めるまでに、進歩せしめたきものである。今や蠶業の眞盛りなる季節に當り、肅みて所感を開陳し、日本産業の母たる婦人方の奮勵を促す。

論説

◎家庭と音樂

東京音樂學校長　大島義修

本篇は大島氏か記者に對して語られたる談話の大要なり、校閲を經たるにあらざれば文字の責は記者の負ふ所なり。

私は音樂に就いて別に嶄新の意見がないのであるが、今の西洋音樂を評する人の中に、それが日本の家庭に這入りにくいわけは、一は樂器が高價であると、一は嵩が高いと、それから使ひ方か日本の住居に相應して居らぬと云ふやうなとが、家庭に這入りにくい原因で、西洋音樂が日本にどこまで普及されるかと云ふとを疑ッて居る者がある。併ながら私は、所謂家庭に這入ると云ふとが、音樂の最も大切なる性質であらうとは考へない、と言ふのは凡ての事が、いろ〳〵の娯樂と云ひ美術と云ひ音樂も其一に洩れずして、社會の進むに隨ッて、個人的から社會的に向つて來るです。例を擧げて言へば一軒々々の家にランプを點ける抔は、個人別々に營むことであるが、進歩した設備では瓦斯とか電燈とかを設けて、各戸家々獨立でなく共同して、社會と云ふものゝ上に、さう云ふ共有の設備が出來て來るやうになつた。或は美術品の如きでも、小さな置物を狹い床間に飾るやうなことよりも、大きな銅像を公園に建て、或は繪畫の大幅を美術館に出すと云ふやうな風に向つて來て、つまり人々か、己れ〳〵の私有物とせずして、公衆と共に之を樂み、共同して利益を受くると云ふ方に向ッて進む、音樂なども其通り家庭にはひッて、家々に音樂があると云ふのもよからう。けれども社會公衆が共に聽いて共に樂むと云ふ方に向けるのは、尚一層大切である。だからして四疊半の小さな座敷に於て琴を調べて、五六人の人が寄ッて聽くと云ふやうなのは、これからの時代の音樂として、最も希望すべき仕組のものとは言へない。それであるから樂器が大きく値段が高いと云ふことは音樂の根本の價値に關係なく、又實用上の缺點ともならぬ。大きな奏樂堂などで多數の人が共に聽き、共に樂むと云ふやうなとを目的とすれば、樂器の大いのは少も障にならず、況んや單獨の小さい樂器よりも、各種の樂器を集めて大きな合奏をすると云ふ風に進んで往くべきであるから、いつも四疊半の考を持つて音樂を評しては往けない。又技術の一つとして見る時に音樂其ものゝ値打と云ふものを、決して輕く見る譯には往かないけれども、人間技術の最も進んだものは最も複雜なる結合を爲したる所のもので、つまり各種の方面の技術を綜合したものに、なるだらうと思ふ。さうすると音樂と云ふやうなものや、繪畫と云ふやうなもの、それから人の動作と云ふやうなものが集ッて、一つの大なる結合した藝術と云ふやうなものを現はすに至っては、到底大仕掛けて以て、社會公衆と云ふものを當てにしてやらなければ出來るものぢやないと思ふのです。（つゞく）

日比谷公園の眞景（一）

奥村刀自の愛笻

こぞの冬刀自が信越地方に遊説の程、刀自の爲に新潟縣下を先導されし、縣官秋山利正氏より、先頃うつくしき笻に、左の文字を彫りて、刀自が許に贈られたり。

高節直幹

壬寅初冬隨二奥村女史一過二見眞大師逆竹遺跡一乃請二得一枝一製爲レ笻以呈二女史一爲レ題レ此

秋山利正

刀自あさからず喜び、外に出づる每に、必ず携へてめでつゝあるが、此程左の歌をものして、秋山氏へ贈られたりとぞ。

新潟の縣の官人秋山利正ぬし、越後なる見眞大師の遺跡におふる逆竹を一本こひえて、杖にしつらひ、ふりはへて贈りおこせられければ、嬉しさのあまりよみてつかはしける。

つくたびにおもひぞいづる呉竹の
　節にこもりたる君が誠を

むらぎもの心こもりし杖つきて
　いよゝつくさん國の御爲に

螢　評議員　中山幸子

夏草のしけるやとのかやり火の
　きえてのきはにほたるとふなり

蚊遣火

立のほる雲かとみれはしつかやの
　かやりたくひのけふりなりけり

笑　御歌所參候　大口鯛二

いくばくもあらぬ我世を同じくは
　はらひてのみもすぐしてがな

電話

いそぐとありてかくればあやにくに
　きれぬはなしのもどかしきかな

越幾斯光線

すきとほるひかりに見ればはたをやめも
　おきなもおなじほねばかりにて

電話番町壹千三百三十番

◎本號附錄には評議員公爵世嗣夫人九條惠子嘉納須磨子松永とみ子の肖像を掲く

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

論説

◎國民としての女性（承前）

法學博士　高田早苗

前申す如く、婦人に公權を許す許さぬといふ論はあるが、之は權利の方より見たので義務の方面より見れば、婦人もやはり男子と同樣に國家の保護を受けて居る以上は又國家に對して盡すべき義務がある、然らば婦人は如何にして此義務を盡すべきかと云ふに、先つ外國では三寸の舌、一本の筆て、國家に盡した者は幾らもある。例へば佛國のマダム、ド、スチール、と云ふ婦人は筆力を以てナポレオンに抵抗し、ナポレオンは非常に此婦人を恐れたと云ふことである。又米國のストウ夫人は、小說を書いて奴隷廢止論を主張して、天下の輿論を喚起した、此奴隷廢止に付ては、グラントやリンコルンの力もあるが、夫人の筆が與かッて力があると今日認められて居る。

併、是等非常の事を以て一般の婦人に望む譯にはいかぬが、一般婦人が國家に對して盡すべき第一義は、國民養成と云ふよてある、未來の國民を養成すると云ふ責任は、是非婦人に負うて貰はねばならぬ。今日の學校敎育のみでは立派な國民は作れない、必ず家庭敎育に恃む所多きは何人も認めて居る。然らば家庭に於て如何なる方針で國民的敎育を施すべきかと云ふに、つまり時代に適合した方針を立てねばならぬ。即ち如何なる働きが一番國の爲になるかと云ふ事を始終頭の中に入れて置かねばならぬ。

今日以後日本人がしなければならぬ事は第一世界的活動、第二憲政の維持である。世界的活動と云ふことに付ては、今日世界の大勢の有樣を知らねばならぬ。今日の世界は分捕主義の時代である、西洋諸國も二三十年前までは、自分の國を治める事さへ出來なかッたから、他に手を出すとはしなかッたが、自分の國の基礎が堅くなるに從ッて、世界中へ手を出して、奪へるものなら奪うとして居る。そこで、何處が奪ひ易くて一番利益か多いかと云ふと、支那が一番割がよいと云ふ事が分ッて來た。支那には無盡藏な石炭鑛もあり、勞役の賃金も廉く、金さへやれば支那人は自分の國の石炭を掘出して、外國人に奉ると云ふ樣な有樣てあるから、各國は爭うて支那に望みを屬して來た。

夫て各國は膠州灣を貸せ、旅順を貸せ、威海衛を貸せ、滿州一面は暫く預かッて置くと云ふ有樣て貸すのはよいが返す氣遣ひはない。斯う云ふ風に各國が支那て分捕を始めて居るのに日本のみ只指を咬へて引込んて居ると云ふ譯にいかない。殊に日本の人口は、年々四十万以上づゝ增して往く。文明國の中で日本程人口の稠密な處はない、つまり一平方キロメートル（九丁十間四方）に百二十人つゝ人間の住んで居る所は、英國の本國と、日本の外はない。故に段々と居所がなくなり、食物が缺乏すると云ふ事になる。然らばどうするか、即ち世界的の考を以て、世界の大舞臺へ出て仕事をして廣く世界のものと交り止を得ず爭ふ時は出來得るだけの權利を占めると云ふ覺悟がなくてはならぬ。即ち家庭に於ても此方針で未來の國民を育てねばならぬと思ふ。第二の憲政の維持と云ふ事は、言葉はむつかしいが、婦人も承知てなくてはならぬ、外に對する方針は定まッて居ッても、內の事を忘れては、內輪から騷動か始まるものである。そこで憲政の維持とは、憲法を維持して往くと云ふ事で、つまり立憲政體の本義をよく了解して、之を運用して往くと云ふ事てある。立憲政體は一人や二人の力ではとても運用されるものでない、大勢よッてやらねばならぬ。今日の世の中は總て選擧で事を行ふので善いものが選ばれて出ればよい政治が行はれ、惡いものが選ばるれば非常に害になる。故に婦人も人を選ぶだけの頭をよく養はねばならぬ。選擧は例へば、立憲政治のいろはであるから、いろは位の事は婦人も心得て居なくてはいけない。兎に角、婦人は家に引込んで居ッても、世の中の大勢に通じて、世間の事をよく知ッて、子供を敎育せねばならぬ事と思ふ。（完）

◎何をか新らしき女學と云ふ

明治女學校長　巖本善治

本稿は婦女新聞社の催したる女子講談會に於ける演說の要旨なり謬誤りの責は記者にあり

○德川時代に於ける女子敎育　女子敎育と云ふ事は近世に始まッて昔にはないやうに思ッて居るものがあるが、之は大なる間違である。如何なる時代でも親が子を敎育せぬ事はない況や德川時代に於ける吾國の敎育は世界に稀れな程のものを施して居る。德川時代では敎育の根源は支那の儒敎から來たのは勿論であるが、支那にも見る事の出來ぬ美しき敎育を施して居る。其れは今日支那より來る婦人の留學生と吾國の女學生とを相對比して見れば直ちに知る事か出來る。

○日本家屋の構造と女子の性情との關係　古來より日本婦人をして善良な婦人とならしめたのは日本の家屋の建築構造が其當を得たからである。支那朝鮮では一家に必ず婦人室といふものがあッて、其室は婦人の城郭であッて夫と雖も自由に入る事を得ぬ事となッて居る故に女は其城郭內では眞の女王でその權力の盛な事は驚く可きものがある、西洋でも秘密室があッて婦人は自分の其室に鍵をかけて、他人の出入を許さないのである。之に反して日本の家屋は各室明放してあッて、主人の勢力は臺所の端より奧の隅まで屆き、婦人は朝夕となく、男子の嚴格なる眼で以て監視せらるゝ間に生活して居る故、万事謹愼し覺悟すると云ふ觀念の發達して居る事は、世界に例のない事である、恰も透明なる硝子瓶に金魚を入れた樣なもので、至ッて優美に且つ禮儀よく育ッたものである。

○姑の一言婦人を玉にす　今一つ敎育の居いた事は、日本の女が嫁入をする時に、一言にて其我儘を制する言葉がある。夫れは姑と云ふ一言である。之が非常に利けて居る。之て以て他處に嫁入をすれば、苦むべきものであるとの觀念を與へられて居る。之に依てよく耐忍もし、勇氣も出て處世の大秘訣を得る次第である。且つ姑は理想的敎育家であッて、嫁に對して何も彼も敎へてやる、學校で多くの人に一時に同樣の敎育を授けるのとは異ッて、一人に對し一人の敎師を得た次第である。つまり熟練なる姑は家庭に於ける善良な敎師て、夫れが實地に就て確實に敎へ込むのであるから、實に立派な女子敎育であると云はねばならぬ。

○新らしき女學の本質　前申す如く、幕府時代の敎育には多くの特長があッたが、又足りない所も多くある。夫れて新らしき女學とは何んぞやと云ふに、幕府時代の長所を採り其短所を補ふに外ならぬ。然らば其缺點は何んであるかと云ふに、女子に社會上及び政事上の事柄を聞かしめぬ事となッて居ッた。之が大なる缺點である。何故に左樣になッたかと云ふに、女は秘密を守り得ぬものとなッて居ッた。女より秘密の顯れるのは千古の不面目と認め、夫れて社會上及び政事上の事柄は聞かさぬ事となッて居ッた。之は大なる間違いである。

○婦人は秘密を確守するものなり　女は男よりも秘密をよく保つ性質を持ッて居るものと思ふ。男子は反ッて名譽心の爲に人に秘密を話すものであるが、女子は大切な事は決して人に話すものでない。然るに一般に女子が秘密の發顯者の如くなッて居る、其源因如何と云ふに、之は敎育の缺點である。女が秘密の事を聞くと、一人だけでは其可否の判斷が出來ない、從ッて心配の餘り里方の父又は兄の許に相談に往く、それから顯はれる事になる。之は則ち社會上の事政事上の事を女子が知らないから起ッたので、敎育が不十分なからてある。決して其性質上秘密か守れぬと云ふものではない。

○古の婦人は育兒の力なし　幕府時代に於ては子供に對する心理上生理上の敎育は、主に男子の監督指揮の許に行はれて居ッて、婦人は子供を敎育するの力がなかッたものである。然るに今後の婦人の勸めは、兒を敎育する事が第一に必要てある。男子は外部に於て働き、家庭に居る事が尠いから、婦人が其任に當らねばならぬ。且男兒は父よりも母に似るもので、其精神まで似るものである。今日東京にある中學時代の學生が、郷里に於ける母を思ふの情は實に切なるものであッて、母によッて一生の精神界を支配されるものである。父の事を思ふ靑年は餘り性質のよくない靑年である其理由は母は常に子に向ッて理想的に敎育する父の缺點等は決して曰はないて、高尙なる理想を以ッて兒に敎へるから、自然兒が立派なものになるのである。

○女子は自重すべし　敎育者が、女を先天的劣ッたものとして敎育し。女自身も自分の性質を卑敬せねは、共に間違てある。敎育さへ受ければ何處までも伸る覺悟の上に立たねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎清國漫遊見聞談

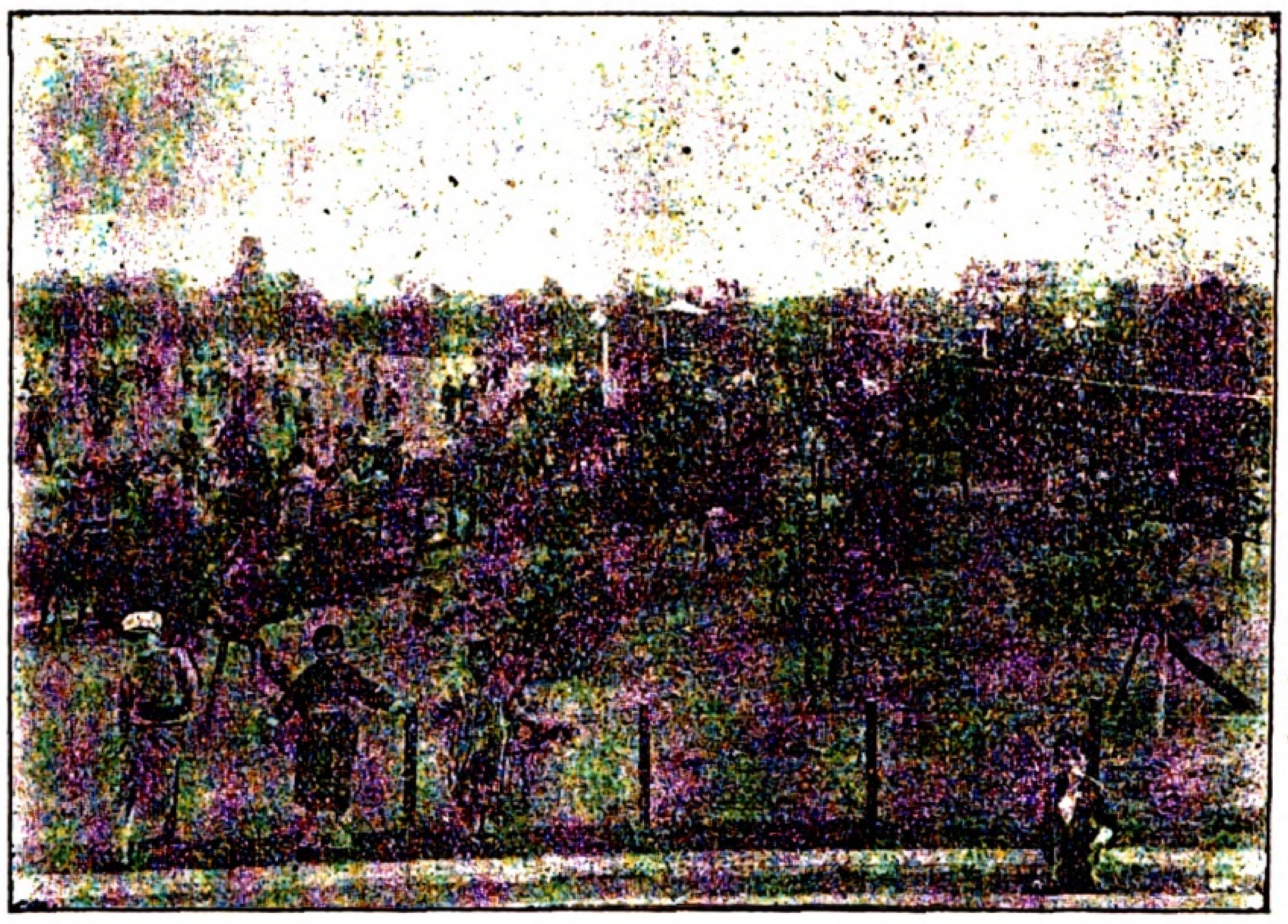
會員　野津伯爵夫人談話

曩に柳澤伯爵が家族同伴の海上旅行を企てられてより以來、海上旅行生活を試みんとの希望、往々上流社會の婦人間に起りたる趣なるが、我會員伯爵夫人野津とめ子氏は令孃（上原少將夫人）及び下婢二名を伴ひ婦人同志にて清國漫遊を企て、楊子江を溯りて漢口まて遊船旅行を試みられ去にし十二日歸京せられたり。夫人の此旅行は實に將來我國婦人の海事思想を誘起する點に於て少なからさる効果ある事を信ず、乃ち記者は同十三日夫人を訪問して左の談話を得たり、聽誤りの責は記者にあり。

○旅行の目的　私が此度び清國に旅行致しました第一の目的は、私の娘が上海の日本郵船會社の支店長の許に嫁して居りまして、其方から是非遊びに來いと誘はれましたので、孫も出來て居りますし、久しく遇ひませんから、娘等が上海當りてどんな生活を營んで居るか、見たくもあり、又夏は熱い處であるから、都合によッては娘等を同伴して休暇中歸らうかとも思ひますし、傍ら支那地方の實地の樣子も一度見たいと思ひましたから、娘を伴うて同地方へ旅行した次第でありますが。實は眞の漫遊で表立ッて往ッた譯でなく、別段此事を調べて戻らねばならぬとか云ふ風な役目を以て往ッた譯でありませぬから、觀察の十分に往届いて居らぬ事は豫め御ようしやを願ひます。

○旅行の順序及目的地　此度の旅行は總て船によりましたが、往復共に至ッて平穩で船に醉ふなどと申す事は一切ありませなんだのは、最も幸福でございました。先づ四月廿六日に横濱出帆の伊豫丸に乘込まして、廿七日に神戸に着き、船の碇泊して居る間大阪博覽會を見物致し、夫れより馬關に向ひ、五月三日同地を出發して同五日上海に着きました。即ち僅か二日間て以て支那の地に着きました。（五六四海里）上海に廿一日迄滯在し廿二日から楊子江を漢口迄溯り（此間五九八海里）、往復九日間程巡遊して、五月卅日に上海に歸り、六月六日に上海を出發して長崎等を經て六月十二日歸京した次第であります。

○上海の市場　上海で一番よく整うて私共の驚いたのは、市場であります。此市場に往けば何んでも調ひます、青物類、肉類、魚類、鷄卵等に至る迄店頭に釣ッて有ッて、中等以下の婦人などは、皆此處に籠を携へて來て、買物をして歸ります。市場には皆トタン葺の屋根て、道路は石が敷き詰めてあッて、午前十二時限りて市場を閉ざし、後は喞筒で場内を奇麗に掃除すると云ふ風になッて居りますから、至ッて清潔であります。青物の中には胡瓜、南瓜、茄子、大根、筍、等に至る迄日本にある程のものは皆んなありまして、熱い處だけに日本のものよりは總て大きなものがありますし、殊に價は日本よりも安くて鷄卵などは小さいもの斗りのやうに聞いて居りましたが、中々大いものがあります其他米もあり、麥もあり、日本人の生活には、差支ないのみならず、東京邊の生活よりも反ッて生活が仕易い樣であります。



日比谷公園の眞景（二）

○上海の公園　其他の公共物　居留地の公園は黄浦江と呉淞江との會流點にありまして、風景明媚の地であります、園の中央に音樂堂もあり毎日瀏喨たる音樂を奏して居ります。外國人などは夫婦連れて美裝して、馬車を走らして、晩餐の前後には公園なり市中なりを徘徊して居りますが、其人數も餘程多くて、始めの程は何事に斯樣に人の出て居るのであるかと、私は不審に思うた程でありました。其他學校もあり養見院、動物園、公會館、圖書館、博物館、等の設備もあります。

○楊子江を溯る　上海より楊子江と申す支那第一の大河を溯ッて、漢口まて往復したのでありますが、漢口には大阪商船會社の支店もありますし、此處と上海との間は同會社の商船が常に通ッて居りますから、旅行するには頗る便利であります。且つ何を申しても河の事でありますから、海のやうに船のゆれる事もなく、危險もありませぬ。且つ軍艦が通行する程大きな川ではありますが大平洋の眞中で水の外他に見るべき景色がないと云ふ樣な事はなく、兩岸には何時見ても森々たる林や山が眼に移る程の距離でありますから船の進むに從うて、景色が移りかはッて往くので丁度疊の上に居ッて回轉する景色を見るのと同じ事であります。夫れで上海の娘も孫をも連れて婦人子供共同行六人て以て漢口まで往復九日間旅行しましたが、小供等も決してあく樣な事はありませず終始よく遊んで居りました。

○漢口に遊ぶ　此地は清國五津の一で前には有名な張之洞の居らる丶武昌府を扣へて居り、左右には南水漢水の二川が流れて居ります、漢水と申すは陝西省より流れて楊子江に入り、南水は湖南、洞庭湖より出て丶湖面を經て長江に流る丶水であります。此地は水運が至ッて便利の地で、港には百船碇泊し、陸には盧漢鐵道といふのがあッて本港を起點として江南の境迄達し交易市場としては清國に於ける有數の地であります。風景は明媚て、名勝古蹟に富み南漢江を隔て丶大別山といふ山があり、禹王廟と晴川閣とは其山の下に相對して、鵬鵡州に連ッて居ります。又西の方には月湖といふ佳い處が在いまして黄鶴樓といふ名高い樓は江東に聳えて居ります。着船後日本領事館を訪ひ、領事の案内で伯牙台と申して昔し琴を彈く有名な人が居ッた古蹟等を見て二日間滯在の後上海に引返しました。

○支那の婦人　儒教の本や人の話しに聞きますと支那の婦人程哀れなものはなく、自由を束縛されて外部にも出てず、無氣力千万なものと考へ居りましたが、之は大いな誤りて如何にも外部の束縛は強いやうに見えますが、其内部に於ける婦人の勢力は非常なもので自由勝手なものであります。良人などを叱り付ける事も往々あり、男は之に抵抗せぬ事になッて居りますから、子供の教育などは殆ど婦人の勢力内に屬して居ります。左らばと云ッて婦人は立派な教育を受けて居りませぬから從ッて小供を十分に仕立てる事は出來ませぬ。支那が今日の如く弱國となりましたのは、全く婦人の無教育に基源する事と考へます、日本から往ッて段々支那人を教へられる樣でありますが、支那の婦人方から教育されねば完全な事は出來ぬと思ひます。

○婦人の渡清を望む　日本の婦人社會に遊船旅行を流行せしむると云ふ譯にも參りますまいが、上海邊まで參りますのは、日本內地の旅行よりは寧ろ簡單であります。馬關から僅かに二日で往かれる程でありまして、船と申すも皆日本の船で、乘込みも日本人斗りと云ふ有樣で、子供等を連れて往ッても厭く樣な事はなく、珍しい物や珍しい事に接したりしますから、從ッて見聞も廣まる道理であります。殊に海上旅行は身體も壯健になりますから、溫泉などに滯在して居るよりは餘程有益の事と存じます。尤も大層船賃が高かッたりしては一般の人に勸める事は出來ませぬが、横濱から上海まで上等で往復二人の船賃が百五十圓程であります。且つ一人に一人の從者ならば船賃を取らぬ事となッて居りますから、つまり四人で百五十圓あれば濟む道理であります。又上海より漢口までは大阪商船會社の船がありまして、漢口は日本の宿屋もあり、食物は野菜ものも澤山ありまして不自由はありませぬ。船賃は上等で二十七圓程であります。料理も時には日本料理でも食べさしますから、何の不自由なしに遊覽して戻られます。殊に支那に居る日本人は婦人の來遊を希望して居ります。私の樣な年の多いものよりは、若い御婦人方が新らしき智識を以て觀察に出かけられは、國家の爲一層有益の事と存じます。

○渡清に付ての注意　上海は夏は非常に熱いですから避暑旅行の爲に往く處ではありませぬ。旅行に適當な時は春か秋かであります。又彼方へ往ッては第一通辯がなくては叶ひませぬ、通辯は先方て備入れてもよろしい。又青物などはありますが、支那では香の物がありませぬから、往く時には福神漬抔を用意するが宜う在います。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎家政要領

家事衞生　食物（つゞき）

魚介類　日本は海國なれば、古來自ら好みて魚類を用ふ。近來西洋風に倣ひて、魚肉を獸肉の下位に置くは大なる誤なり。されば經濟上衞生上汎く之を用ふると必要なりとす。魚介類は如此に大切なる食料なれば衞生試驗所に於て已に六七十種の分析あり。其中にて百分の二十以上の蛋白質を含むものは左の如し

鯛二〇、二八　鰈二一、九三　イナダ二〇、九二
鮄二一、九七　赤鱏二一、五〇　鰹二五、〇六
鯖二一、一〇　鰤二一、九六　鰶二〇、四三
鰯二一、三九　鯵二一、〇〇　石斑魚二一、〇三
針魚三九、一八　尨魚二二、一四　鮫二四、八二　鯒二〇、〇七　カンパチ二一、一二　柱底魚二二、三七　龍蝦二一、五二　石決明二四、五八

而して乾魚は水分少きを以て、蛋白質の割合更に多し。鰊は六八、四四　鹽鮭は二六、一〇　鹽鰤は三四、一四　干章魚は七三、一四　鯣は六九、五三　砂魚の佃煮三八、八二にて、鰹節に至っては實に七五、六〇ありて、甚だ貴重なる食料なり。されども乾魚は大抵消化宜しからず、料理方に注意を要するなり。又蒲鉾は二〇、八九の蛋白質あれども、半平に至っては僅に六、六二に過ぎず。

總じて介類蝦蟹等は消化可からざれども、其他の魚の生鮮のものは、百分中僅に二、一五の不消化の部分あるのみ、鹽魚に至ッても尚ほ百分の五十三までは消化吸收するものなり。而して魚の油は藥用にする魚肝油さへある程にて、植物性の油に比すれば遙に消化し易し。

總じて魚類は脂を持つときは脂肪に富む、此時を適食季節とす、此季節に至れば産卵の爲に海岸に近づき、捕獲に便を與ふると天與ともいふべきものなり。

魚介類の料理は鳥獸肉の如く蒸焙煮の三種にて、目的も同一なれども、唯刺身鱠など生食すると少からず。此生食は普通其害案外に少けれども、北海道の鱒鮭の刺身、近江琵琶湖の鮒鱠は往々蛭虫を生ずるとあり。注意すべし。魚介類の變敗したるは腥臭甚しく鰓の色鮮紅ならざるを以て、之を知ると得べし、又暗き處に置くとき、燐光を放つとあり、是も變敗の證なり。又蒲鉾・半平を色どるに有害なる色素を用ゐたるものあり、注意すべきとなり。

◎各地特殊の料理（寄稿を募る）

（三〇）鯉の白あへ　埼玉縣岩槻町　會員某報

鯉を三枚におろし皮を去り、洗にする樣に薄く切り、酢をかけて置きまして、別に豆腐を布につゝみ、搾りて水氣を去り、擂鉢にてすり、（裏漉にすれば尚よろし。）味淋少々に鹽と酢とを加減してまぜ、さて前の鯉を酢より上げ、豆腐に入れてあへるので御座います。其他加役として獨活ならば薄く短冊に切りたるを生のまゝ、三葉ならばゆでゝ、いづれも酢に浸します。然し餘り長く浸してはいけませぬ。藥味には芥子か山葵を用ゐます。味が至極淡泊で夏分でも一日位は腐敗しませぬ。當地は海魚に乏しいので、鯉を用ゐますが、鮪・鰹などにても宜しう御座います。

（三一）蓮根の粉辛あへ　松山市　會員某報

先づ蓮根の皮を去り、一分位の輪切にし、ざッと湯煮して水をきり置き、葛粉に少々砂糖を加へ、水にてどろ〳〵にとき置き、さて鍋に油をひき文火にかけて、前の蓮根を入れよくまぜ、次に葛粉のときたるを入れ、十分間ばかり焦げつかぬ樣に能くまぜ、鍋をおろすなり。さめたる時、鉢にうつし、粉辛を醬油にてときたるを入れ交ぜて用ゐるなり。

（三二）ねりかへ餅　大分縣宇佐郡　會員某報

鏡餅の切りくづや、氷餅（かき餅ともいふ）の折などを溜め置き、水に浸し、毎日水を取かへ、五日位經て笊に打上げ、鍋に入れ弱火にて徐々に煉り、ツブ〳〵のなくなりし頃、よき程に振りキナコに砂糖を加へて食べるので御座います。是れは食物が粗末にならず、淡泊りして一寸おいしく食べられます。

（三三）鮒の味噌煮　佐賀市成美女學校内　某報

燒き鮒を昆布にて巻きたると、大根を一寸位に輪切にしたるとを、味噌のたれにて一夜位とろ火にかけて能く〳〵煮ますと、極めて柔かになり、骨ごと頂かれて誠に結構です。

是は或る處で御馳走になりまして、餘り美味でしたから、拵へ方を聞いて一寸御報知申上たのです。

◎臺所問答

問　キントンとは何ういふ譯の名でせうか。

答　金團は古くは橘飩と書いたもので、卓袱料理の一種の名だと申します。

問　卓袱とは何ういふものですか。

答　シッポクは其文字即ちタクフクの唐音だといひます。唐風の食事に用ゐる卓の名で、四脚で高さの三尺許ある卓の袱紗をかけたもので、其卓の上に食器を並べて飲食するのを、卓袱料理といひます。

問　其料理は何んなものですか。

答　料理の一々は知りませんが、日本でも關西では、蕎麥に蒲鉾や松茸や菜などを入れたのを、卓袱蕎麥といひます、東京の五目蕎麥です。斯樣ものや金團なども、其料理の一種でせう。何れ支那料理の事ですから、豚などを澤山に使ふのでせう、尤も精進の卓袱料理もあるさうで、其精進のものを、普茶料理と申すのださうです。

問　タクアンの説明を伺ひたいです。

答　タクアンとは庵澤漬の畧語で、黄檗山の初代の澤庵和尚が始めて拵へて廣めたから、其名をつけたのだといひます。或は（たくはへづけ）の轉じた語だと申す説もあります。

◎奧村刀自遊説日誌（承前）

五月十一日　午前八時三十分玉島驛を發し、倉敷に向ふ。柚木氏邸を發するに際し、有志婦人は同邸に參集見送られ、柚木梶雄氏及び滿谷郡視學は停車場迄見送られたり。倉敷驛にて下車し吉備郡總社町へ向ふ、藤田倉子氏は郊外一里餘の處に出迎はれ、一同十一時頃同地に着す。午後一時より吉備婦人會第三回總會に臨み演説す。聽衆約七百名、即時特別會員十名、通常會員二十九名の申込ありたり。同五時閉會。郡長草加廉男夫妻、藤田倉子、知新高等小學校長及び郡書記諸氏大に盡力せられたり。此夜同町桝屋旅館に泊す、同地婦人會より一切の費用を仕拂はれたり。

同　十二日　午前八時同町出發腕車にて備中高梁町に向ふ、有志者十餘名見送られたり。車行約七里にして同十一時着。午後二時より賴久寺に於て開會、聽衆約千名。即時入會者五十二名ありき。郡長石川良道氏以下郡書記諸氏大に奔走盡力せられたり。私立高梁順正女學校長伊吹岩五郎氏は刀自に隨行せる中村本會事務員と同郷の人とて大に斡旋せられ、尚同校生徒中より金五圓を本會へ寄贈せられたり。此夜檢事湊正則氏、中學校長柳井道民氏及び郡長夫妻等旅宿を訪はれ、殊に柳井氏は一行三人の宿泊料を支辨しくれられたり。

同　十三日　午前八時出發岡山に歸る。湊檢事、石川郡長、郡書記其他有志婦人等十餘名旅宿に參集見送られ、其他有志者一同高梁町外迄見送られたり。車行約十二里、殊に大雨にて困難なりき、午後三時半自山舍に歸着す。

同　十四日　午前九時出發、武本縣屬と共に岡山市より三里なる西大寺町に向ひ、同十時半着。午後二時より同地高等小學校に於て開會。聽衆約八百名、即時特別會員三名通常會員四十五名の入會申込ありき。郡長始め原警察署長、鴻山郡視學、山口町長小學校長教員諸氏大に奔走盡力せられたり。同六時出發、七時三十分岡山自由舍に入る。

同　十五日　檜垣幹事長、光岡中學校長夫人、小田某氏夫人及び宰田縣屬諸氏と共に吉備郡庭瀨町に向ッて出發、午前十一時同地に着し、渡邊要次郎氏邸にて一同午餐を供せられ、午後一時より同地高等小學校に開ける同地婦人會總會に臨み演説す。即時入會者二十二名ありき。此婦人會は都窪郡撫川と吉備郡庭瀨町との兩地の婦人團躰なれば、都窪郡よりは原郡視學、吉備郡よりは草加郡長夫人出席せられ、其他庭瀨町長坂井通之氏及び稲屋小學校長等大に盡力せられたり。午后七時一同岡山に歸る。

（五頁へつゞく）

◎奧村刀自　群馬栃木埼玉千葉地方の巡回を終へ、一時歸京中の處去二十三日出發山梨石川富山福井の諸縣遊説の途に上られたり、九月始め頃歸京する筈なり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷録事

◉皇后陛下　去にし十七日日本赤十字社總會に行啓あらせらる。午前九時四十分陛下は水色の御洋服をめさせられ閑院宮殿下の御先導にて、社員の擧げし万歳聲裏に玉座に着御あり社長松方伯爵開會を告げ了るや陛下は御起立遊ばされ御聲朗らかに令旨を讀ませられ、夫れより總裁閑院宮殿下御答辭あり、松方社長の報告有功章の授與及び篤志看護婦人修業證書授與等を親しく御覽の上還啓あらせられたり。

愛國婦人會記事

◉評議員總會の景況　評議員總會及び東京支部幹事會を去にし十六日偕行社に於て開きたるが、同日の出席者は岩倉會長を始め、近衛谷の兩理事山地謙子、松平須磨子、堤常子、神山万佐子、千家俊子、岩佐德子、鳩山春子、濱尾作子、豐島文子、嘉納須磨子、棚橋絢子、相馬陸子、南鄕柳子、柳谷千代子、山脇房子、中山幸子、麻生箏子、島田信子、佐方鎭子、仁杉歌子、藤井とく子、關邨子、阪井春子の各評議員、又支部幹事には阿部たか子、渡邊いね子、長井とし子、花岡亨子、長田亥勢子、室田勢以子、服部文子、田村彰子、新山雅樂子、保利久子、進利子、羽田三緒子、松平芳子、笠井梅野子、桑原淺子、仁尾繁子、長谷川小枝子、前田とみ子、和田ふく子、小原ろく子、堀田ゑん子、羽鳥すゑ子、松平かね子、橋口喜代子の諸氏にして奥村刀自も千葉縣巡回を了へて出席あり。刀自の伴ひたる千葉支部幹事も來會せられ堀内相談役は主事に代つて上半期の報告及議案を説明し、議案に對しては夫れ〲左の如く決議を爲し、了つて評議員會を閉ぢ更に東京支部幹事會を開き午後五時頃散會したり。

◎評議員總會に於ける決議要領

○會員章に小總を附する事　會費全納者を表彰し、又五十圓以上の寄付者には會員章に小總を付するの可否についての議案なりしが評議の結果小總を付する事に可決し、次に總の色に付て赤色紫色の二説ありしが、遂に赤色と定むる事に決したり。

○協約狀を會員に附與し又謝狀の書式等を一定する事　之は總裁殿下御上任に付協約狀の制定及び辭令以下の書式を確定する件なりしが協約狀を付與する事に決し書式等は主事に一任の事に決せり。

○男子を贊助員とするの件　男子も本會の事業を贊成する者尠からず、依て贊助員に限り男子を加へんとする議案なりしが、男子を加ふるに付ては別に異議なきも贊助員の程度は從來二十錢以上の納金を爲せは直にその資格を得る事となり居りしを以て男子を入るゝとすれば其資格を高からしむる方法を採るべく其結果本規則に修正を及すを以て、本案は次回まで延期する事となれり。

○評議員の定員を二百名に限る事　現今評議員の人員は百八十五名あり、依て適任者を待つ爲め十五名の空位を存し、此以上無限の增員を止めんとするにあり。異議なく可決。

○會費を預入るべき銀行を決定する事　現今は森林銀行に預入れあり、此儘繼續すべきか否やとの議案なりしが繼續することに決せり。

○會員の門戸に會員標を揭ぐる事　之は必ず揭ぐ可しとせず任意に揭る事と修正の上決定せり。

○會計主任以下に報酬又は賞與を與ふる件　本年上半期に於ける勉勵を賞せんが爲なり。議案の通異議なく可決。

○本年下半期の豫算　此豫算は左の通り原案の儘可決せり。

明治三十六年下半期經常費豫算

一金九百拾九圓	
金百六拾五圓	借家料
金參百四拾貳圓	給料
金八拾四圓	事務員一名分
金百四拾四圓	同　二名分
金七拾貳圓	筆生一名分
金四拾貳圓	小使一名分
金拾八圓四拾錢	宿直辨當料
金貳拾四圓	器具費
金七拾貳圓	筆紙墨費
金參拾九圓六拾錢	雜費
金百八圓	郵便電信料
金百五拾圓	車代

◉相談役集會　同會は去月廿七日開會せり。出席者は近衛公爵谷岡部伊東松平の四子爵堀内陸軍少佐佐々木海軍大尉等にて、本部の建築其他重用なる相談ありたり。

◉清國人本會評議員會を參觀す　清國直隷總督袁世凱の男袁克定、軍機大臣の男李焜瀛外部大臣の男煕金玉及び徐華淸の四氏は日本觀光中日本婦人の公共事業をも視察せんとて、去にし十六日の本會評議員總會に參觀を乞ひ、岩倉會長の許を得て會場に入り暫し議事の模樣を見てありしが、やがて退出に當り、挨拶して曰く、日本に於ける貴婦人方の社會事業に盡さるゝ有樣を親しく拜見するを得たるは私の幸福とする所なり、歸國の上は本會の景況を母に語るべし、母若し日本に渡來の節は本會に出て、皆樣の御敎示を願ふならん、其節は宜しく御敎示あらんことを乞ふと。斯くて堀内少佐は本會の主唱者なりとて奥村女史を袁氏等に紹介し奥村女史は袁氏に向ひ先年淸國各地に赴たるなど語られたるに、袁氏曰く天津に來られたる節は必ず我が家を尋ねられんことを希ふ母は喜びて面會を願ふなるべし。奥村女史曰く御歸國の上は母上に相談ありて斯る婦人會を設け、支那も亦强國とならんに力められよ。袁氏曰く國の强盛は婦人の力に在りと信ずれば、仰せに從ひ十分に盡すべしとて、いと慇懃に拜謝し去りぬ。

―◆―◆―◎―◆―◆―

◎奥村刀自遊説日誌（四頁のつゞき）

五月十六日　宰田縣屬と共に岡山を發して和氣郡和氣町に向ふ、午前十一時着。午後一時より高等小學校に於て開會。聽衆約八百名。即座に特別會員五名、通常會員七名の入會申込みあり。郡長不在の爲郡視學武用宗之次氏以下郡書記諸氏大に盡力せられたり。醫師万代常閑氏の希望により撮影す。午後五時半出發、同七時半笠岡町に着す。伊丹郡長夫人及び會員の有志十四五名は、郡書記警官等と共に停車場に出迎はれたり。旅館柄甚に宿す。

同十七日　此日は同町を距る五里なる矢掛町に開會の筈なりしに、俄に發病したるを以て竹井渡邊兩醫師に診察を乞ひ、電報を以て開會中止の旨を矢掛町の會場に向つて發す。有志諸氏の失望此上なかりきと云ふ、又明十八日は岡山市に開會の筈なりしを以て、宰田縣屬は直に歸りて此旨を報したり。有志婦人諸氏が終日徹宵看護せられたるは感謝の外なし。

同十八日　午前一時宰田縣屬及び岡山より來る。前日來渡邊竹井三上の三醫師及び婦人諸氏の介抱一方ならざりしにより、幸に速に平癒し、同十一時五十五分笠岡驛を發して岡山に歸る伊丹郡長夫人初め有志者十四五名見送らる。午後二時岡山に着す。檜垣幹事長其他諸氏訪問せられたり。

同十九日　午前知事邸に到り答禮す。午後七時より高砂座に於て演説す、此會は岡山市理髮業婦人團躰の發起せるものなり。聽衆約千二百名白阪視學官開會の趣旨を述べ、次に刀自演説し、暫時休憩中理髮人取締等は入會者を勸誘したるに、特別會員拾名、通常會員八拾九名、贊助員二十三名を得たり。休憩後更に登壇、同十二時に至り閉會す。同市上石井町山田貫一氏は金五拾圓を寄贈せられたり。

同二十日　午前九時二十六分岡山驛を發し、同大阪に向ふ見送人は檜垣幹事長、田中檢事正、同夫人、葛書記官、同夫人、荻尾警察署長、光岡中學校長、同夫人並に理髮業婦十餘名なりき、午後三時大阪に着す、刀自は下車し廣岡評議員を訪はれ、中村隨行員は葛書記官の祖母同車なりしを以て京都迄直行、午後四時半京都着、丹平に止宿す。刀自も同八時頃大阪より來着せられたり。

同廿一日　京都を發し三重縣桑名町へ向ふ、午後七時着、甘粕郡長夫妻、二井嵯峨の兩幹事、二井利三郎氏外會員拾三名出迎はれたり。二井幹事邸に宿す。

同廿二日　午後一時より大谷派別院に於て分監總會を兼ね、刀自の演説會を開く、聽衆約一千五百名、即座入會者拾壹名ありき。三重支部所在地たる津市より幹事長代理として杉村太田の兩幹事及び中村縣屬出張、甘粕二井嵯峨の三幹事を始め、郡長井上郡書記、有志家鈴木氏及び柄田休職陸軍大尉等大に盡力せられたり。

同廿三日　午前十一時出發歸京の途に上る。甘粕郡長警察署長、二井甘粕嵯峨の三幹事、二井氏鈴木氏柄田大尉夫妻及び令孃其他會員十餘名停車場に見送らる。十二時二十分名古屋に着す。愛知支部の後藤副幹事長、寺島片野の兩幹事佐々木杉山兩事務員停車場に出迎はれたり。同五十五分名古屋驛を發し途中無事午後九時三十分新橋に着す。高木佐藤の兩評議員及び龜岡事務員出迎はれたり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

みやび會員詠草

、、○夏の初に山に登りて　兵庫　中村益子
くれなゐに匂はん秋のそれよりも若葉なつかし山のかへるて

、、、○牡丹　愛知　後藤しん子
夜の雨にうつろはさしとふかみ草をかめのうちにうつしてそみる

、、、、○杜新樹　德島　尾方衣子
產土のもりの櫻は散りはて丶大木のけやきあを葉しけりぬ

、、、○夜聞郭公　愛媛　川上貞子
さよふけてひとりねさめの枕へに山郭公いくこゑもなく

、、、○たちはな　新潟　高島知止子
まとの戸をあくるたもとにかをる也軒のたちはなけさ咲きぬらし

、○早苗多　清國　稻田綠子
さなへとる田歌はけふも聞ゆなりひまなき賤か身こそしらるれ

、、、○梅雨　和歌山　大橋綠子
梅雨に谷の岩はし水こえて渡りわぶなり里のうなゐ子

、、○楝　愛媛　川上貞子
むらさきのあふちの花の下かけにやすらひなれはなく郭公

、、○穗麥のくちぬるを見て　愛知　鈴木波津子
出そろひし畑の麥の穗ふりつゝく長雨にあたらくちにける哉

雜報

◉常宮殿下意を殖產に用ひ給ふ　御見學の御爲として大阪博覽會を御觀覽あらせられたる皇女常宮昌子內親王殿下が大坂御發途の前一日、山脇博覽會事務官御禮として御用邸に參候せし折、三日間の博覽會御巡覽の其間に、如何なる列品が御心に適ひたると伺ひ奉りしに、初めは却々に打明けて仰せ給はざりしも、重ねて伺ひ奉りしに打笑ませ給ひつゝ、わが心に適ひし第一は郵船會社の出品なる汽船の模型にて、彼は實物と露差はず其儘に作りしとの事なれば、船の構造を研究するには此上なき者なるべし、殊に船には姉妹の名もありていと床かしければと仰せつゝ、周宮殿下の方を顧りみさせられ、更に第二に心に適ひしは美術學校出品の圖案なり、但しこは花まれ蔓まれ仔細に顯微鏡試驗を行ひて、纖維組織等を解剖して圖案とせんには一層の妙を極むべし、自らも學びの暇に試みたる事あり、その參考として見る如きものこそ欲しう思ほゆれ。第三は農業館の福岡縣出品區に掲げられつる縣下の模型地圖なり、米の產地は米粒を、麥は麥を、石炭は石炭を、生絲產地は繭をつけて一目其生產力をさへ瞭然たらしむれば、地理の研究には此上なきものぞかしと語らせ給ひたりとぞ。斯かる御志にて在しけるより、御巡覽中も深くも思召をかけさせ給ひしは殖產興業の諸表、さては海產林業、磁器採鑛なんどにて、農業館機械館なんどにも多くの時を費やし給ひしといふ。御齡わづかに二八に在しましながら斯く國本養成に御心を用ひ給ふこそ有難けれ。

◉愛國婦人會門司支會談話會　同會は去にし廿一日同地高等小學校に於て第一回談話會を開きたり當日式の順序は左の如し。

一、午後一時來賓及び會員着席(此間奏樂)一、幹事挨拶、一、事務員人名報告、一、來賓演說、一、會員談話、茶菓饗應、終て餘興日清戰爭談、

◉同會新潟縣岩船郡の景況　同郡には目下會員百三十二名幹事五名あり、此程幹事の盡力にて左の規約を立てたりとぞ。

岩船郡愛國婦人會申合規約

第一條　本會員は親睦質實を旨とし淑德を修め他の龜鑑となるを以て目的とす

第二條　一町村に居住の會員は本會の隆盛を圖り又は相互の親交を温めんが爲め每年春秋の二回會合するものとす
但時宜に因り適當の講師を聘し婦道に關する講話を聽くことあるべし

第三條　會員は勿論其家族中に死亡者等あるときは其最寄の會員は勉めて會葬するものとす

第四條　會員にして他郡等に轉住者あるときは其最寄の會員は勉めて歡送をなすものとす

第五條　會員は入會者募集に努むるものとす

第六條　會員にして本會の體面を汚すが如き行爲あるときは相互に注告若しくば退會を促すものとす

◉同會群馬縣の景況　同縣前橋市より發行する上州新報の報道によれば、同縣下目下の會員は特別會員三十四名、通常會員百二十五名、贊助員十一名合計百七十名にして、之を郡市別にするときは、縣廳高等官吏夫人八名、前橋市五名、高崎市四名、勢多郡八名、群馬郡三名、多野郡五名、北甘樂郡十七名、碓氷郡八十二名、吾妻郡十二名、利根郡五名、新田郡五名、山田郡二名、邑樂郡五名、佐波郡九名なり、而して支部幹事長としては知事夫人人見悅子、各郡市幹事には郡市長令閨之に當られ又過日奧村刀自遊說の結果、前橋市のみにて普通會員に加盟せしもの三十九名、特別會員に入會せしもの六名ありと云ふ。

◉日本赤十字社篤志看護婦人會　同會第五修業證書授與式は去にし十七日同社總會の席上皇后陛下御臨御の際北白川大宮妃殿下より修業證書授與せられたり。今回の卒業者は名譽會員東伏見宮周子殿下梨本宮伊都子殿下を始め、正會員男爵夫人松平すま子以下廿九人にして、柳谷千代子氏總代として證書を受領したり。

◉日本赤十字社の婦人會員　は同社總會の時發表せし統計表によれば全國を通じて總計二万九千五百九十五人にして、最も多き府縣は東京の二千七百九十人、愛媛の二千三百六十五人、神奈川の千七百四十人等なり。

◉女子薙刀試合　女子体育上の一遊戯として流行の兆ある薙刀試合は本多夫人、大迫夫人、海江田夫人、津田夫人等の發起にて來る二十八日午前十時より上野音樂學校に於て、戸田流武甲流表三十本、裏三十本、奧十本等各番組の立會ある筈なり。

◉大日本音樂會園遊會　女子新聞主筆中川氏の專ら盡力せる同會は、去にし廿一日日本橋倶樂部に於て第四十回演奏會を兼ね園遊會を催し、福地源一郎加藤時次郎中村濟藏鳥居濟忠堀野文祿奧野市次郎等紳士令孃たち二十名の演藝あり、猶餘興として井村常山氏の席畫、蓄音機其他種々の趣向ありたり。

◉貞婦賞を受く　府下南足立郡淵江村平民農增田專藏(四十)の妻あき(二十六)は此程同郡役所より賞狀を賜はりて、其行狀を表旌せられたり。同女は埼玉縣北足立郡谷塚村平民農佐藤要藏の二女なるが、專藏の先代は文藏といひて戸長を勤め相應の資產を殘して死去し、殘は專藏と母しの(七十)のみなりしが、專藏は長じてはつといふを迎へ長女かん(十九)長男八重市(十六)二女きよ(十三)の三人の子を設けしも、去る二十八年中はつは病歿し、あきは其後妻なり。さるに專藏はまだ前妻の存生の頃より放蕩を始め父が遺產も大方遣ひ盡し、あきを妻とせし頃よりは亂行愈よ募り、無賴漢の仲間入して家を飛出し、諸方を徘徊し步きて、其住所も判然せぬ程なるも、あきは恨む氣色もなく、七十の老母と三人の繼子を疎む樣子もなく養育し、夫が不義理の借財せし債權者には利息代りに勞働を爲し、晝は田畑を耕し綾瀨川の肥船より肥料を買求め、肥桶を擔て畑に出で夜は溝河に出で鰻鰌を取り、之を野菜と共に家內の寢入中千住あたりの靑物市場に持出して賣り代なし、冬は深更まで爐邊に糸を續ぎ機を織るなど、七年が間營々として汗しづくになりて立働き、つれなき夫の所爲を心にもかけずして眞の母ならぬ姑に孝養を盡し、苦しき中にも子供は學校へ通はせるなどの心遣ひは、並々の男にても出來難き業なるが、かゝる妻が誠心も無情の夫にも通ぜざるか、未だに其居所さへ言越ずといふ、今回この事其筋の知る所となり賞狀を賜はりしも、其貞孝の德といふべし。

◉新任米國公使グリスコム氏　去にし十二日横濱着のシベリヤ號にて夫人同伴來朝したる同公使は、一八七二年に生れ大學卒業の後法律事務に從ひたりしが、夫の米西戰爭の際、故大統領マ氏に其材を知られて、兩軍間幾多の紛爭を裁斷し、一八九九年六月更に拔擢せられて在土國公使館書記官となり、對土要償問題の難局に當りて、遂に土帝に九万弗の償金を出さしめ一九〇一年功を以て波斯駐箚の公使となりたり、是れ實に氏が而立の壯齡の時にして、今回更に榮進して我國に來れるなり。多望の前途遼遠なりと謂ふべし。

◉セルヴイヤ國の變　過日國內に兇變起りて國王皇后を始め內閣員迄殺害せられたりと傳ふるバルガン半島のセルヴイヤ國は舊と土耳其帝國の一自治州にして一八七八年の伯林條約により獨立王國となりたるものなるが、此度の兇變は皇帝に子なく皇后の弟を太子に冊立せんとしたるに反對して起れるものなり。而して僭稱者カラゲオルキツチ公が國王たるとは歐洲列强の承認する所なるが如し。

◉西伯利鐵道線路及び其費用　西伯利大鐵道線路の距離に關し露國遞信省の報告に據れば、總延長距離七千七百八十三露里にして、今之を各鐵道線路に據り區別せば左の如し。

西伯利線	三一四〇露里	後貝加爾線	一四一八露里
烏蘇里線	八一二	東淸鐵道	二四一三
計	七七八三露里		

而して聖彼得堡、浦潮間の距離は七千二百十七露里、聖彼得堡、旅順口間は七千五百三十五露里にて前記總線路敷設費は今日迄既に七億八千萬留を支出せりと云ふ。

◉新刊紹介

○應用理科家政心得草　婦女文庫第一編として獨立評論社より發行せるもの。處々如何しき議論も散見すれど主婦たる人には多少の參考となるべし。(定價三十錢)

○摸樣畫初步　繁より簡に進み粗より密に及ぼして各種の模樣を示し別に說明として同參考書と題する册子を添ふ(定價三十五錢、大日本圖書株式會社)

○新國民　戸水博士が吾國の現狀に滿足せず社會教育によりて其改善を圖らんとて其意見を披瀝せられたるもの。日本の富を增すべし、心を海外に用ふべし、帝國主義の實行を計るべし以下六題を容む。(有斐閣發賣)

○婦人と子とも(第三卷第六號)○女鑑(第十三年第十二號)

○兒童新(第四拾號)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

夏着物

服地、シヤレー、其他英佛國更紗、各種造花、羽根、手袋、沓下、レース絹木綿各種、ヘヤピン、サイコーム、ハンカチーフ、日傘、シヤツ、リボン化粧品其外小間物一式

●婦人御袴地（海老紺、牡丹、紫紺）

●帽子フラン子ル洋服等御好に應じ調進仕候

東京市麹町區麹町二丁目七番地
八木屋號　大國市藏
御小賣商　電話番町七四二

村井弦齋著

増補註釋 食道樂 春の巻

（家庭第一實用の書）

▲口繪大隈伯爵家臺所の眞景▼　▲實用向堅牢製本▲正價八十錢▲郵税十錢

弦齋居士の小説食道樂は天下に鳴り渡れり、衛生上より和漢洋の料理を説明し、一々詳細に其料理法を掲ぐ、然れども小説以外に語るべきもの多し、此に於て大に增註を施し完璧となしぬ▲增註の内容は

本文料理法の解釋▲本文以外の新料理法▲本文中に在る器物の圖書▲各食品の滋養分説明▲博士ケルチル氏の算出したる日本人一日の食物表▲各食品の鑑定法▲各種病人の食物及其禁忌▲食物の中毒症狀及其應急治療法▲食品名物等の販賣所及び價格等有益の事項凡そ二百五十餘●附錄には日用食品四百四十餘種の分析表及び大隈伯爵家臺所の説明あり

此書一冊を購ふは鷄一羽を買ふよりも廉なり、而して家庭百年の寳となる、苟も生命を重んずる人は必ず一本を臺所に備ふべし

●發行所　東京京橋區三十間堀三丁目　報知社出版部

高等香油 チェリーオイル

定價　大瓶金八拾五錢　中瓶金四十五錢　小瓶金貳十五錢

●チェリー、オイルハ最上高等の香油にし尚は當店か多年の苦心の上適當の香料を配合したるものなり

●チェリー、オイルを四季通じて御用ひに相成ればいつも洗髪の如くにて最夏の折などは殊更惡しき臭ひを去り又逆せ及びよごれる事更になし

●チェリー、オイルは頭髮の發生をたすけ拔毛を防ぎ縮毛惡癖を直し如何なる赤毛も黒漆の如き艶を出し隨て衛生上他に比類なき高等香油なり

●チェリー、オイルを御用相成れば香氣馥郁として四季の名花一時に滿花せし如くなるが故自ら香水香袋を御持參に異ならず

●チェリー、オイルは衛生上紳士貴婦人方に欠く可からざる唯一の高等香油なれば一度御試の上多少に不拘御用仰付られ度奉希上候也

日本直輸入元　東京市日本橋區本町二丁目十五番地　高橋初次郎　特電話本局四一三番

●全國到る處の小間物、化粧品、賣藥店に販賣致居候

先般錦地へ出張ノ節ハ不一方御芳情ヲ忝ウシ奉感謝候一々御挨拶狀可差出筈ノ處引續キ關東地方へ出張致候間乍略儀以紙上御禮申上候
六月十一日
愛國婦人會事務員　中村管二郎
愛國婦人會主唱者　奥村五百子
京都、大阪、和歌山、岡山、三重各會員有志者御中

先般錦地へ出張ノ節ハ不一方御芳情ヲ忝ウシ奉感謝候一々御挨拶狀可差出筈ノ處引續キ山梨支部へ出張ノ都合ニテ準備ノ爲メ彼是多忙ヲ極メ候ニ付乍畧儀以紙上御禮申上候敬具
六月十九日
愛國婦人會事務員　龜岡豐藏
愛國婦人會主唱者　奥村五百子
栃木、群馬、埼玉、千葉　各會員有志者御中

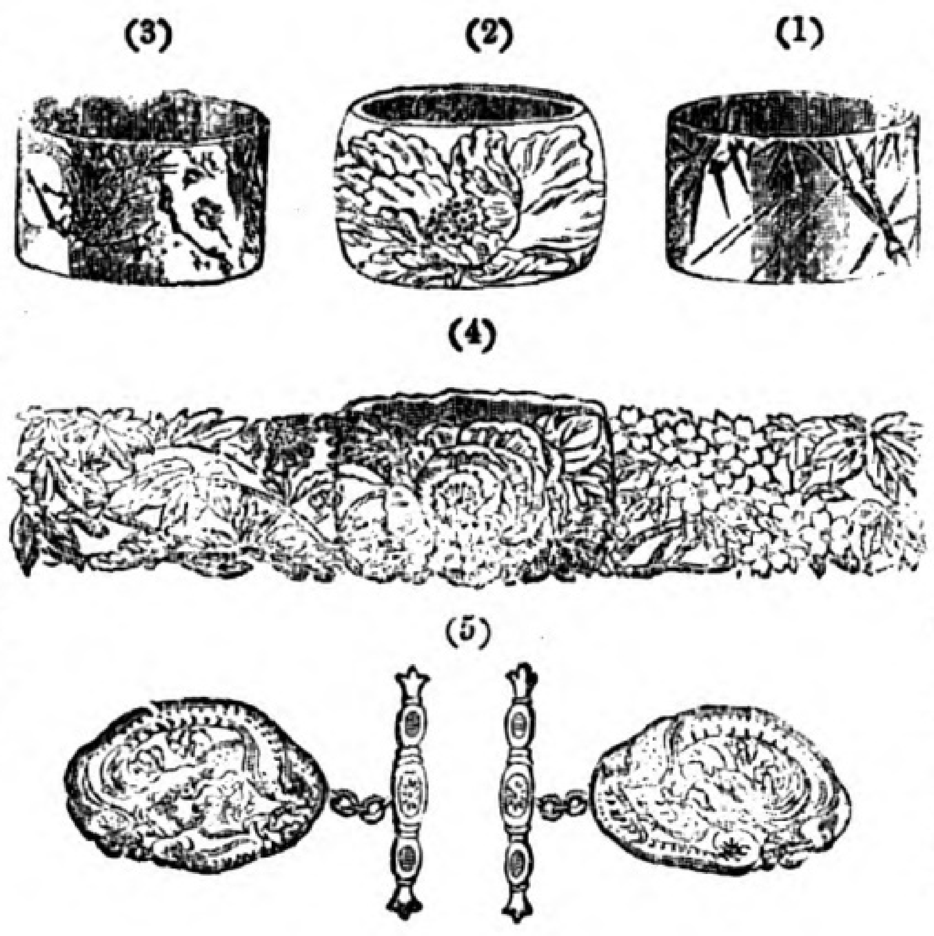
婦人科産科榊病院

院長　醫學博士　榊順次郎
東京麹町三番町卅三　電話番町三百九十五
診察午前　入院隨時

●水原産科婦人病院

○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立産婆學校の設あり

新製指環及手釦



(1)價廿一圓八拾錢……廿二金三匁付片切刻
(2)價廿七圓八拾錢……同……高刻
(3)價二拾圓八拾錢……同……片切刻
(4)價五拾六圓五拾錢……同四匁付……高刻
(5)價卅二圓九拾錢……十八金三匁付高刻

東京市京橋區尾張町貳丁目拾六、七、八、九、番地
時計寳玉貴金屬美術品及銃砲火藥商　天賞堂　電話新橋特三三三、一三三、五三三
天賞堂出張所々在地　●東京市田川町●横濱市●名古屋市●大阪市●廣島市●熊本市●長崎市●小樽區

目

夏半襟　帶揚○帶片側○單帶○丁縮け出し○兵兒帶○帶止め類
贅澤染中形小柄浴衣地　崁新柄眞岡縮木綿絽縮紅梅織數種　おろし小賣
○雀形○ゑり治形まげ入
高等洗粉顔肌美白　チヱリー　有効證明
發賣元本舗　新橋竹川町十二　電話新橋二〇二七　ゑり治　園田

新炭兩用 富貴竈 專賣特許

本器は世間在來竈の不備の點を悉く改良し完備したる構造製作にして精良堅固なるのみならず未だ曾て其比を見ず眞價は實驗にて知り給ふべし説明書は御一報次第進呈す
○販賣店は全國到る所にあり

輕銀 アルミニューム製食器

衛生と經濟に宜く無害高尚優美なる器具なり
發賣元　東京淺草區茅町淺草橋際（電話下谷一九二三）　阿部彦四郎商店
代理店　大阪市博勞町四丁目　万年九平　横濱市吉田町一丁目　内田甚兵衛

生徒募集

本校豫科及乙種師範科生徒を募集す入學志望の者は入學願書に履歷書及戸籍謄本を添へ來る八月廿日迄に願出づべし
但募集人員及入學手續等は六月六日官報廣告欄にあり●規則書を要する者は郵券二錢を添へ本校に申出ずべし
明治三十六年六月
東京音樂學校

女生徒募集

女子裁縫和洋割烹普通科ノ外特ニ速成科ヲ設ク有志ノ女子ハ隨時申出ツヘシ規則入用ハ郵券要二錢
東京神田淡路町二ノ九
女子裁縫和洋割烹　專修舍

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店
◎東京堂 神田區表神保町三番地
◎東海堂 京橋區銀座四丁目

東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店
電話浪花二千八百五十九番
電信略号ミノイソ
(み)
誂袴專門
男女用
袴の親玉
小賣部 東京本郷區本郷五丁目十一番地
美濃磯支店
電話本局千四百十五番

▲世界の最近一大良書出版▼
米國現代の富豪獨力成功者グラハム翁書信
實業之日本社飜譯
(目下歐米にて大評判の書)
成功者の信書 處世教訓
父母之を讀め
姉妹之を讀め
品性の高潔思想の雄邁を以て有名なるグラハム翁が自ら成功したる如くに愛子の成功を祈る餘り愛子の學生時代より實際社會に入りたる後に至る迄隨時長大の書信を發して立身成功の要訣を敎へしもの眞情流露熱誠滿幅字々生動句々活躍眞に生命ある立身成功訓
▲米國にて忽ち十五版を重ね又英國にて忽ち卅萬部を賣盡したる大好評の書
▲全一冊美本 ▲正價四拾錢 ▲郵送料八錢 ▲切手代用一割增
東京麴町有樂町三ノ一(電本一五一四)
賣捌 各地書店 實業之日本社

婦人界 二卷第二號
六月一日發行 定價一冊貳拾錢 郵税一冊貳錢

少女界 二卷第六號
六月十一日發行 定價一冊十錢 郵税一錢五厘

發兌 東京本町 金港堂書籍株式會社

全國各學校徽章賞牌ハ弊店ノ獨專業ニ有之候 價格表ハ御報次第呈送ス
日本帝國徽章商會
東京市麴町區飯田町三丁目 電話番町八百五十七番

明治三十六年六月廿五日發行(毎月十日廿五日二回)
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

國文科講習及參考用書 (賣捌所は全國有名の書店にあり)

◎畠中 辻橋註 東關紀行 正價卅五錢 郵税四錢
◎註釋 關儀一郎註 駿臺雜話註釋 價六十五錢 郵税八錢
◎增田于信 生田目徑德兩氏講述 新註古今和歌集講義 四百餘頁 定價六十錢 郵税十錢
◎文學博士 黒川眞頼 飯田武郷 校閲 松平靜著 枕の草紙詳解 三冊 各冊四十五錢 郵税金廿四錢
◎三木氏講 十六夜日記講義 正價廿錢 郵税四錢
◎中邨秋香述 落窪物語講義 全三冊 正價一圓廿五錢 郵税十五錢
◎畠山健述 百人一首講義 正價十五錢 郵税十二錢
◎今泉定介先生講述 伊勢物語講義 定價廿五錢 郵税六錢
竹取物語講義 實價二十錢 郵税四錢
◎松下大三郎著 日本俗語文典 洋裝美本 正價八十錢 郵税十錢
◎文學博士 萩野由之校 太平記註釋 七冊 正價金四圓 小包廿錢
◎今泉定介先生講述 平家物語講義 全六冊 價各五十錢 紙數一千六百頁 郵税六錢宛 郵税二十錢
◎三木氏述 保元物語講義 二冊 正價七十錢 郵税十錢
◎今泉定介著 平治物語講義 全二冊 正價八十錢 郵税八錢
◎井上 栗島述 大和物語詳解 價四十五錢 郵税六錢
◎大塚彥太郎著 更科日記講義 正價卅錢 郵税四錢
◎三木氏述 紫式部日記講義 正價卅錢 郵税六錢
◎今泉定介 神皇正統記講義 價六十錢 郵税十錢
◎挿圖 伊藤平章講述 徒然草講義 價四十五錢 郵税十錢
◎今泉定介講述 土佐日記講義 正價廿錢 郵税四錢
◎國學院講習會講義 正價六十五錢 郵税八錢
◎今泉定介講述 方丈記講義 正價廿錢 郵税二錢
◎畠山健校 今泉定介 御伽草子 價七十五錢 郵税八錢
◎文學博士 萩野由之輯編 新御伽草子 價七十五錢 郵税十錢
類書多し購客は各書店に就き誠之堂出版の書と御指名を乞ふ
發行 神田鍛冶町 電本九四九 誠之堂

瘰癧 ◎最新療法 切開ヲ要セス根治シテ治ス
◎心臟病 ◎脚氣 ◎專門
千葉內科院 神田區三崎町三ノ一 西通リ二十五

發行兼印刷人 山澤俊夫
編輯人 手島益雄
發行所 大日本女學會內

みやび
六月十五日發行の本誌には伊國名工の塑像『母』の寫眞を掲ぐ
◎本誌の目的は婦人をして常識に富み、世態に通じ、以て婦人の人格を高めんとを期するに在り。されば、其所說、新に流れず、舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世に阿りて、徒らに俗流の歡心を迎へず。◎本誌は、輕佻浮華の弊風を避けんが爲に、表紙口繪など、不要の裝飾を省きて、專ら記事の精選を努む。◎本誌に收錄する所は、普通婦人雜誌に掲載する文學上、家政上の記事のみに止めずして、●科學の大意を掲げて、學理の概念を得しめ、●法制理財等の要を掲げて、諸書の渉獵に便せしめ、●和漢洋名著の綱要を掲げて、世態に通ぜしむ。◎本誌は、野卑なる言語及び劣等なるの文字を避け、下品なる廣告を掲げず。◎本誌は、勤儉貯蓄の美風を愛し、之を奬勵せん爲に、毎號懸賞貯金切手を附して、其模範を示す。◎本誌の讀者は、みやび會員となり、其歎、文を本會に送付して、名家の批評添削を受くることを得。
毎月一回十五日發行毎號紙數百四十頁
定價拾五錢全國無遞送料
發行所 麴町區下二番町三十七番地 大日本女學會

預金利子
貯蓄預金 年六分
定期預金 六ヶ月以上 年六分五厘
小口當座預金 百圓に付 日歩一錢五厘
當座預金 百圓に付 日歩一錢二厘

帝國貯蓄銀行
銀座一丁目河岸通り
本郷一丁目 本郷支店
飯倉ヲ辻 飯倉支店
赤坂裏一丁目 赤坂支店
四谷大通り 四谷支店
南品川一丁目 品川支店
横濱吉田町 横濱支店
牛込神樂坂 神樂坂支店
神田須田町 須田町支店
兩國米澤町 米澤町支店
淺草雷門前 吾妻橋支店
代理店 日本橋坂本町 田中銀行
●一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候
●毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

家事衞生
正四位勳三等醫學博士 三宅秀先生著
大日本女學會發行(日本女子大學校敎科書)
總クロース綴ぢ金文字入り菊判二百四十頁定價金六十錢郵税金六錢
此書は文部省學校衞生顧問內務省中央衞生會委員元醫科大學部長なる三宅博士が文部省の囑托により講義されたるものなり書中に衣服食物住居育兒看病の五編ありて我國一般の民度に應じ何れの家にても實行に差支なき樣懇切に說示されたり世に類なき家庭主宰者の寶典なり
●賣捌所 東京神田區一橋通町七 有斐閣

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN